

[報道関係者各位]



IBARAKI DESIGN SELECTION 2024

いばらきデザインセレクション

いばらきの優れたデザインを募集しています

茨城県では、本県の産業イメージや地域イメージを高めるため、県内の優れたデザインを選定し、PRする「いばらきデザインセレクション」を実施しており、今年で20回目を迎えます。

以下のとおり募集しておりますので、記事での紹介をお願いいたします。

全体を通して最も優れた作品に「大賞」、それぞれの部門の最も優れた作品に「知事選定」が贈られます。

【応募資格・対象】

県内に事業所等を置く中小企業、団体、個人事業主等 / 県内で開発または生産、実施されたもの

【募集期間】

6月17日(月)～7月31日(水)必着

【応募部門】**《製品・工芸部門》**

工業製品、工芸製品のデザイン

《グラフィック・パッケージ部門》

ポスターやパンフレット、CI・VIなどのグラフィックデザイン、食品や日用品などのパッケージデザイン

《空間・建築部門》

住宅や商業施設、産業施設、公共施設などの空間および建築物のデザイン

《ソーシャルデザイン部門》

地域の活動、社会的な課題解決に関わるサービスや仕組みのデザイン

《コンテンツ・情報デザイン部門》

各種メディアにおけるコンテンツ、サービスや仕組みのデザイン

【選定の種類】

大賞(1件)、知事選定(各部門1件)、選定(25件程度)、奨励(5件程度)、シリーズ選定(数件)

※募集の詳細や過去の選定については、こちらからご覧ください。→

id-selection.jp

【参考:2023 選定品】 ※詳細は、別添の昨年度選定カタログをご参照ください。

<大賞>



【空間建築部門】
日本酒文化長屋 磯蔵
～Locaboire ISOKURA～

<知事選定>



【パッケージ・グラフィック部門】
吉田茶園
ブランディングプロジェクト



【ソーシャルデザイン部門】
なんでも相談できる医療相談所
“はなそう”



【コンテンツ・情報デザイン部門】
LuckyFes

【募集に関するお問合せ先】茨城県デザインセンター(ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンター2F)

担当: 田中、大平 TEL: 029-264-2205 FAX: 029-264-2206 Mail: info@idesign-c.jp

【事業に関するお問合せ先】茨城県産業戦略部技術振興局技術革新課 技術革新支援グループ

担当: 海老澤、横田 TEL: 029-301-3579 FAX: 029-301-3599

いばらきデザインセレクション2024応募要項

応募受付期間

2024年6月17日(月)～7月31日(水)

※変更になることがありますので、WEBページにてご確認ください。

応募方法

以下の2通りの応募方法があります。

①応募用紙(ExcelまたはPDF形式)をいばらきデザインセレクションのウェブサイト(id-selection.jp)からダウンロードしてください。応募用紙に必要事項を記入の上、募集期間内に事務局にeメールで送信してください(郵送可)。

②ウェブサイトにある応募フォームから直接ご応募ください。

※現品は送らないでください。

※空間・建築デザイン等については、必要に応じて図面を別添してください。

※応募用紙や図面は返却しません。

応募費用

無料です。ただし、審査及び展示に必要な資料の作成と審査物品等の搬入出に係る送料等は応募者の負担となります。

応募資格

応募対象の事業主体である中小企業、団体、個人事業主等が応募できます。

応募対象

客観的なデザイン審査が可能な、具現化されたモノやコトが応募対象です。令和6年7月末日までに発売、実施、または公的発表をされていて、下記のいずれかにあてはまるモノやコトが応募できます。

- 茨城県内に事業所等を置くものが事業主体であるもの。
- 茨城県で開発または生産、実施されたもの。
- 茨城県に特別に関わりのあるもの。

※一度応募したものでデザインのリニューアルやバージョンアップがおこなわれていれば再応募できます。

審査方法

一次審査：書類選考／二次審査：現品選考

※審査会場に持ち込めない作品は、説明パネル等の資料で審査をおこないます。また、現地調査をおこなうことがあります。

よくある質問

Q 新しいモノやコトしか応募できませんか？

A すでに購入や利用ができるモノやコトも応募可能です。近く発売・開始時期が予定されている場合も応募ができます。

Q 1社で複数の作品を応募することはできますか？

A 1社で何件でもご応募いただけます。応募用紙は1件につき1葉(1通)提出してください。

Q 数社と協同で作上げたものを応募します。選定された場合、各社に選定証をもらうことはできますか？

A 事業主体者が複数の場合は、連名で応募することができます。その場合、各社に選定証を発行します。

Q 選定の通知はいつになりますか？選定された場合、どの時点で一般に公開できますか？

A 結果通知の発行は11月上旬を予定しております。一般公開は11月中旬の選定発表以降におこなえます。

他、よくある質問をウェブサイトに掲載しています。あわせてご確認ください。

注意事項

○応募対象の知的財産権について問題が生じた場合や、応募・選定に伴い応募者と第三者との間で問題が生じた場合は応募者がその責任を負います。主催者は一切の責任を負いません。

○応募・選定対象が、第三者の知的財産権を侵害していると認められた場合、対象の欠陥等から第三者に損害を与えた場合、ほか各種法令への違反が明らかになった場合、主催者は応募・選定を取り消すことができます。

○選定後、売上や知名度の向上等、選定の効果について追跡調査へのご協力をお願いしますので、あらかじめご了承ください。

主催／茨城県

応募部門

【製品・工芸部門】

工業製品、工芸製品などのデザイン

例) 産業機器、生活用品、生活家電、家具、文具、木工、陶芸、石工、織物など

【グラフィック・パッケージ部門】

ポスターやパンフレット、CI・VIなどのグラフィックデザイン、食品や日用品などのパッケージデザイン

例) ポスター、パンフレット、広告、ロゴマーク、食品パッケージ、梱包パッケージなど

【空間・建築部門】

住宅や商業施設、産業施設、公共施設などの空間および建築物のデザイン

例) 住宅、店舗、オフィス、工場など

【ソーシャルデザイン部門】

地域の活動、社会的な課題解決に関わるサービスや仕組みのデザイン

例) ソーシャルビジネス、地域おこし、コミュニティの再生、少子化・子育て対策、働き方改革など

【コンテンツ・情報デザイン部門】

各種メディアにおけるコンテンツ、サービスや仕組みのデザイン

例) アプリやWEBページのUI・UX、映像、雑誌、広報誌、サービスデザイン、ビジネスモデル、イベント企画など

審査基準

下記の審査基準により、とくに優れている点を評価します。

- デザインコンセプトが明確であること
- 美しくまとまりがあるデザインであること
- 社会性や公共性を有していること
- 機能性と安全性に配慮されていること
- 茨城らしい背景やストーリーを有していること
- 地域の振興に資するものであること
- 発展性と持続性に期待できること
- 独創性や新規性に富んでいること

応募要項2024

20th
Anniversary
since 2005



いばらきデザインセレクション

IBARAKI DESIGN SELECTION 2024

「いばらきデザインセレクション」は、茨城の優れたデザイン選定・顕彰することにより、地域イメージを高め、生活の質の向上や産業振興につなげていく取り組みです。

応募部門

全体を通して最も優れた作品に「大賞」、それぞれの部門の最も優れた作品に「知事選定」が贈られます。

製品・工芸部門

工業製品、工芸製品のデザイン

例) 産業機器、生活用品、生活家電、家具、文具、木工、陶芸、石工、織物など

グラフィック・パッケージ部門

ポスターやパンフレット、CI・VIなどのグラフィックデザイン、食品や日用品などのパッケージデザイン

例) ポスター、パンフレット、広告、ロゴマーク、食品パッケージ、梱包パッケージなど

空間・建築部門

住宅や商業施設、産業施設、公共施設などの空間および建築物のデザイン

例) 住宅、店舗、オフィス、工場など

ソーシャルデザイン部門

地域の活動、社会的な課題解決に関わるサービスや仕組みのデザイン

例) ソーシャルビジネス、地域おこし、コミュニティの再生、少子化・子育て対策、働き方改革など

コンテンツ・情報デザイン部門

各種メディアにおけるコンテンツ、サービスや仕組みのデザイン

例) アプリやWEBページのUI・UX、映像、雑誌、広報誌、サービスデザイン、ビジネスモデル、イベント企画など

募集期間

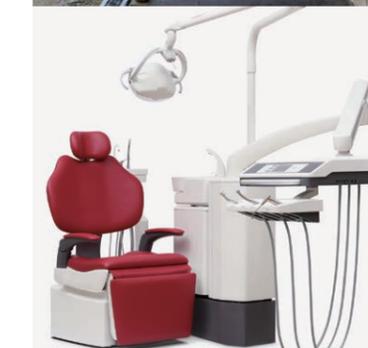
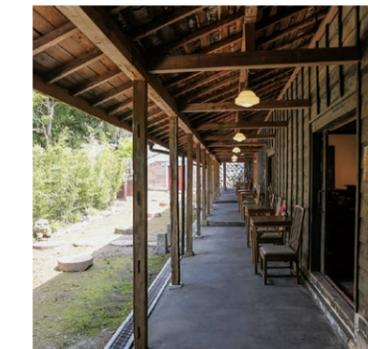
2024年

6月17日(月)

7月31日(水)

いばらきデザインフェアなど各種プロモーション*を企画し、選定作品を応援します。更なる飛躍をめざしてご応募ください。

※茨城県アンテナショップIBARAKI sense、イオンモール水戸内原等での販売イベントの実施、各分野の専門家である審査委員からの改善アドバイス、販路開拓支援など。



茨城県デザインセンター IBARAKI DESIGN CENTER

応募・問い合わせ先

事務局

茨城県デザインセンター <http://www.idesign-c.jp>

〒312-0005 ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB棟2F

TEL.029-264-2205 FAX.029-264-2206 E-mail▶info@idesign-c.jp

詳細・応募用紙のダウンロードはこちら
id-selection.jp



デザインは想いの可視化

私たちのまわりにはデザインがあふれています。

優れたデザインからは、どんな想いを抱き、何を狙っているかがひと目見ただけで、はっきりと伝わってきます。それは、時に複雑なことをシンプルに伝えてくれ、時に暮らしをより良くし、時に驚くほど美しい解を見せてくれます。あなたが心を込めたデザインをどうぞ応募ください。

選定メリット

選定されると、以下のようなメリットがあります。

選定マーク

選定マークをPRに活用できます。
※選定マークの使用は無料です。パッケージやチラシ、WEB等にご活用ください。



冊子・WEBカタログ等 媒体への掲載

「いばらきデザインセレクションカタログ」(冊子版・WEB版)を作成し、掲載します。また、このカタログは、電子書籍ポータルサイト「イバラキイーブックス」にも掲載されます。



選定証

選定事業者には認定証が授与されます。
アクリルケース入りで、立てて飾ることができます。



表彰式・交流会

表彰式では選定証の授与のほか、審査委員が評価ポイントを解説します。表彰式後に審査委員や選定事業者間の交流の場を設け、新たなつながりやプロジェクトの創出を目指します。



いばらきデザインフェア

県内や都内での巡回展示や選定商品の期間限定販売イベント等を通して、販路開拓を支援します。

※2024年度は東京・銀座にある茨城県のアンテナショップ「IBARAKI sence (イバラキセンス)」、茨城・水戸市にある大型商業施設「イオンモール水戸内原」などでの開催を予定しています。



ブラッシュアップ 相談会

茨城県デザインセンターでは、いつでもデザイン相談を受けつけています。また、「いばらきデザインセレクション」に応募すると、選定の有無に関わらず応募作品についてブラッシュアップ相談を受けることができます。※「ブラッシュアップ相談会」の募集数には限りがあります。

選定の種類

大賞 全体を通して最も優れている作品1点

2023大賞
日本酒文化長屋 磯蔵 ~ Locaboire ISOKURA~/磯蔵酒造株式会社 [空間・建築部門]



知事選定

選定の中でもとくに高いレベルでデザインされており、茨城として誇れるもの

2023知事選定

- 歯科診療用ユニット fellesa/日本アイ・エス・ケイ株式会社 デンタル事業部 [製品・工芸部門]
- 吉田茶園ブランディングプロジェクト/吉田茶園、株式会社デザインティーエイチ [グラフィック・パッケージ部門]
- 森のような町役場 大子町新庁舎/大子町 [空間・建築部門]
- なんでも相談できる医療相談所 "はなそう"/ 合同会社メビウスメディカル [ソーシャルデザイン部門]
- LuckyFes/株式会社茨城放送 [コンテンツ・情報デザイン部門]



選定 茨城の優れたデザインとして高く評価できるもの

シリーズ選定 過去選定の改良版や姉妹品で評価できるもの

奨励 茨城の優れたデザインとして今後の発展性が期待されるもの ※選定マークは使用できません。

選定者の声

応募によりたくさんの専門家の方々からご意見をいただくことができ、自分の趣味と自己満足の集大成を客観的に見るとどうなるのかを知ることができたのは、とても勉強になりました。

【2023大賞 日本酒文化長屋 磯蔵 ~Locaboire ISOKURA~/磯蔵酒造】



今まで家族がパッケージを作っていましたが、今回はプロの力を借りてリブランディングに取り組みました。「知事選定」と高く評価されたことにより、パッケージやデザインがお客様に与える印象が重要だということに社内で改めて気づかされました。



【2023知事選定 吉田茶園ブランディングプロジェクト/吉田茶園、株式会社デザインティーエイチ】

茨城県知事によって委嘱された各分野の専門家・有識者・バイヤーからなる審査委員が厳正な審査と審議を行います。

2024年度 審査委員

原 忠信	筑波大学芸術系ビジュアルデザイン領域 准教授
秋元 淳	公益財団法人日本デザイン振興会 事業部課長
石川 俊祐	株式会社KESIKI 代表取締役CDO 株式会社ウッドウライクカンパニー 代表取締役 多摩美術大学TCL 特任教授 旭川市最高デザイン責任者(CDP)
一ノ瀬 彩	茨城大学工学部都市システム工学科 助教
川又 俊明	Think Sync inc. CEO クリエイティブ・プロデューサー
蓮見 孝	筑波大学・札幌市立大学名誉教授 茨城県デザイン政策アドバイザー
日暮 学	株式会社日本百貨店 統括バイヤー
日野 明子	スタジオ木瓜 代表
藤代 範雄	株式会社藤代範雄デザイン事務所 代表取締役
ミック・イタヤ	ビジュアルアーティスト
吉田周一郎	株式会社shushi architects代表

スケジュール Schedule

6月17日(月)

応募受付 応募個別相談会

応募受付期間中の7/20(火)、7/30(水)、7/10(木)、7/12(金)に応募に関する相談会を開催予定です。

7月31日(水)

応募締め切り

8月中旬

一次審査(書類選考)

応募用紙の内容に基づき書類選考をおこないます。

8月下旬

一次審査 結果通知

応募者あてに一次審査の結果を書面で通知します。一次審査を通過した作品には、二次審査の案内をお送りします。

10月中旬

二次審査(現品選考)

審査会場に展示された現品を見ながら、審査委員会が審査基準に基づく採点と審議をおこないます。審査会場に持ち込めない物品は説明パネル等の資料で審査をおこないます。

11月上旬

二次審査 結果通知

応募者あてに書面で選定結果を通知します。

11月中旬

選定結果発表(プレス発表)

大賞・知事選定・選定・奨励・シリーズ選定に選ばれた作品を発表します。

12月下旬

表彰式・交流会

選定証授与および審査委員による選定案件の講評をおこないます。

※不測の事態によりスケジュールが変更となる場合があります。詳しくはWEBにてご確認ください。



IBARAKI DESIGN SELECTION 2023

いばらきデザインセレクション 2023



いばらきデザインセレクションは

茨城県の地域や産業を元気にする優れたデザインの選定を通じて

いばらきの地域イメージを高め、産業振興につなげていく取り組みです。

2005年より始まり、今年度で19年目を迎えました。

目次

大賞

日本酒文化長屋 磯蔵 ～Locaboire ISOKURA～ …… 4

知事選定

歯科診療用ユニット feliesa …… 5
吉田茶園ブランディングプロジェクト …… 5
森のような町役場 大子町新庁舎 …… 6
なんでも相談できる医療相談所“はなそう” …… 6
LuckyFes …… 7

選定

Waltz …… 7
杉のコースター …… 8
八溝材 総檜造りバレルサウナのブランド「BURROW」 …… 8
THE BASE FIBER …… 8
通い徳利 「つくばの地酒×笠間陶芸の徳利」セット …… 8
サザソフト …… 9
常陸野ハム BARREL SMOKE …… 9
moymo PETIT GIFT (モイモ・プチギフト) …… 9
SENSAI 鮮彩 …… 9
THYMUS COFFEE …… 10
ACTIVE YOHKAN …… 10
いばらきのわらびもち …… 10
神鹿羊羹 …… 10
がませんべい箱小 …… 11
せせらぎ在宅クリニック …… 11
庇護の家(常陸太田の平屋) …… 11
西方いずみ幼稚園 …… 11
水戸市民会館 やぐら広場 …… 12
JINS水戸元吉田店 …… 12
「人と木」をつなぐ建築 HITOTOKI …… 12
いばらき地酒バー水戸 …… 12
規格外干し芋をよりおいしく食べやすくアップサイクル3者連携プロジェクト …… 13
山のcafe sasahara …… 13
関鉄EVバス …… 13
日立総合病院「なごみの広場」～ヒストリースペース …… 13
鮭松榮 …… 14
「しくみ」×「魅力」をデザインするCMS「みなさいと」… 14
オートリゾート …… 14
偕楽園カフェ「樂」 …… 14
湖と里山とわたし。 …… 15
広報おみたま9月号(第198号) 2022年9月発行 …… 15
3代続く豆腐屋。夫婦で取り組むリブランディング …… 15
科学と製菓による革新的STEAM教育教室S-Lab. …… 15

奨励

ワニナルプロジェクト …… 16
日本で唯一 ウミウ捕獲伝統技術 …… 16

シリーズ選定

那珂湊張り子_竜 …… 17
penna short armchair …… 17
超極細棒材 自動供給機 パートップ OS4REY II …… 17
ユニバーサルデザイン着物エプロン【おさらい着】 …… 17
防災授乳Tシャツ(吸水速乾Tシャツ) …… 18
引き出す …… 18
N.CYCLE FACTORY® CORDURA®
サイクルウェアシリーズ …… 18
深作農園 いちご箱シリーズ …… 18



選定マーク: 茨城の県花であるバラをモチーフに、いばらきの「i」とデザインの「D」で「茨城発のデザイン」を表現しています。デザイン：倉垣満俊

大賞

全体を通して最も優れているもの

知事選定

選定の中でもとくに高いレベルでデザインされており、茨城として誇れるもの

選定

茨城の優れたデザインとして評価できるもの

奨励

茨城の優れたデザインとして今後の発展性が期待されるもの(※選定マークは使用できません。)

シリーズ選定

過去選定の改良版や姉妹品で評価できるもの

ごあいさつ



いばらきデザインセレクション2023
審査委員長

原 忠信

筑波大学芸術系
ビジュアルデザイン領域 准教授

いばらきデザインセレクションには今年度過去最多142件の応募を頂きました。デザインに関心をもって心を込めて取り組んだ案件をととても嬉しく思います。心より感謝申し上げます。デザインの営みは人の営みのあらわれです。多様な応募案件からいばらきの豊かさを改めて感じる事ができました。

今年度は、コンテンツ・情報デザイン部門が新設されました。情報デザインに関連する事柄でもありますが、今年はChatGPTなど生成AIに注目が集まりました。私たちデザイナーが使うAdobeのアプリケーションにも生成AIの機能が搭載され、デザインのワークフローに生成AIが用いられる場面も増えるでしょう。

AIや自動化など、世の中が楽で便利になる一方で、キャンプなどアウトドアアクティビティが人気です。山歩き、自転車移動、竈の調理は、私にとって楽しみであり、生の感覚を確認したり地球の環境について考えたりする機会でもあります。

大賞の「日本酒文化長屋 磯蔵」は大正時代の蔵を、日本酒、笠間焼、地場の食材などを五感で楽しめる施設に力強く再生した事例です。「大正時代にあった技法だけで」「観光から感幸へ」「脱流通」など、大量流通大量消費やマスの価値観を超える姿勢にも共感しました。地域にあるものを徹底的に活かしたプリコラージュ(既存のものを集めて役立てること)の結果、ここにしかない体験価値の創造に成功しています。ゆっくりと流れる時間を楽しみながら、地域から地球まで思いを馳せてみるのも良いのではないのでしょうか。

審査委員 茨城県知事によって委嘱された各分野の専門家・有識者



秋元 淳

公益財団法人日本デザイン振興会 事業部課長



日暮 学

株式会社日本百貨店 統括バイヤー



石川 俊祐

株式会社KESIKI 代表取締役CDO
株式会社ウッドユウライクカンパニー 代表取締役
多摩美術大学 TCL特任教授
旭川市最高デザイン責任者(CDP)



日野 明子

スタジオ木瓜 代表



一ノ瀬 彩

茨城大学工学部都市システム工学科 助教



藤代 範雄

株式会社藤代範雄デザイン事務所 代表取締役



川又 俊明

Think Sync inc. CEO
クリエイティブ・プロデューサー



ミック・イタヤ

ビジュアルアーティスト



蓮見 孝

筑波大学・札幌市立大学名誉教授
茨城県デザイン政策アドバイザー



吉田 周一郎

株式会社shushi architects 代表取締役



日本酒文化長屋 磯蔵 ～ Locaboire ISOKURA ～

磯蔵酒造有限会社 〒309-1635 茨城県笠間市稲田 2281-1 Tel.0296-74-2002 <http://isokura.jp>

空間・建築部門

大正時代の蔵を改修し、ロカヴォア(地元を飲む)をテーマに、ギャラリーやカフェ、マルシェなどを融合させた、美味しさと楽しさに包まれた"感幸"長屋

評価ポイント 歴史ある酒蔵の風情はそのままに、酒と食を味わうひとときを、酒の醸し手と呑み手が共に楽しめる交流の場として再生させようとする意欲的な取り組み。かつての米蔵を“酒文化長屋”と読み替えて改装し、試飲のできる酒販コーナーや工芸ギャラリー、カフェなどを魅力的に配置している。酒造りにこだわるだけでなく、地場の多様なセクターを誘い込み協奏し合いながら、日本固有の食文化である“酒”の衰退を食い止め、蔵人が生涯に渡って働き続けられるようにしようとする蔵元の熱い想いと粋な遊び心が伝わってくる。





歯科診療用ユニット feliesa

日本アイ・エス・ケイ株式会社
デンタル事業部

〒300-4297 茨城県つくば市寺具 1395-1

Tel.029-869-2001

<http://www.dental-king.com/index.html>

製品・工芸部門



スピットン（口すすぎ）部とチェアを一体化し、無影灯・テーブル支柱部と分離することで、単独で上下に動かせるようにした高機能歯科診療用ユニット

【評価ポイント】 歯科治療の緊張感をほぐしてくれる美しい色とかたち、そして立ち座りが楽なステップレス+スライドチェアを備えたユニバーサルデザインの歯科診療用ユニット。無影灯とテーブル支柱を床固定とし揺れを抑えることで、マイクロスコープを使用した精度の高い施術にも適する。また誤動作を避けるための物理スイッチと液晶タッチパネルの併用など、患者と術者の快適性と安全性を両立させるためのきめ細かい配慮がなされている。



吉田茶園ブランディングプロジェクト

吉田茶園

株式会社 デザインディーエイチ

〒306-0236 茨城県古河市大堤 1181

Tel.0280-31-8827 <https://www.yoshida-chaen.com>

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 2-8-3 プラザ恵比寿南 4F

Tel.03-6303-1036 <http://www.design-dh.co.jp>

グラフィック・パッケージ部門



茶園のシンボルである「レンガ造りの蔵」をアイコンに使用し、ロゴや商品パッケージ、包装紙等を統一。独自の世界観を構築したブランディングプロジェクト

【評価ポイント】 レンガ蔵や外壁のレンガのかたちに着目し、微妙に調整された明度、彩度の緑茶色を組み合わせることで、一般的な茶園のイメージを一新させるユニークで魅力的なブランディングデザインを生み出している。爽やかなデザインは、既存客に受け入れられやすく、新たな世代への広がりも期待できそうだ。パッケージから包装紙、ショッピングバッグに至るまで全体的にまとまり感が高く、茶園の世界観が素直に伝わってくる。



森のような町役場 大子町新庁舎

大子町 〒319-3521 茨城県久慈郡大子町大字北田気 662 Tel.0295-72-1131 <https://www.town.daigo.ibaraki.jp/>

空間・建築部門



林業の町をアピールする純木造の新庁舎。構造部材は全て茨城県産材を用い、大子漆等の特産品を館内装飾に取り入れた、町の魅力を発信するシンボリックな公共建築物

評価ポイント 圧倒的な存在感を発する木架構は、建築物のデザインとして美しく見事である。館内に漂う清々しい木々の香りが、林業の町であることを一瞬にして納得させてくれる。災害時を想定した建屋や駐車場の配置、学校帰りの児童生徒が立ち寄って学習や談笑できるスペースなど、町民の意見を積極的に取り入れ町民に開かれた庁舎は、ここを町民生活の真ん中になるように育てたいという町の姿勢が強く現れている。

設計：遠藤克彦建築研究所
遠藤 克彦、樋口 永
構造：佐藤淳構造設計事務所 佐藤 淳
電気：EOS plus 高橋 翔
機械：知久設備計画研究所 知久 昭夫
川村設備研究所 川村 政治
施工：株木建設 松間 武



なんでも相談できる医療相談所“はなそう”

合同会社 〒310-0021 茨城県水戸市南町一丁目 4 番 22 号シンヤ寒梅館 1 階 101
メビウスメディカル Tel.029-246-5534 <https://www.moebiusmed.com/> <https://hanasow.com>

ソーシャルデザイン部門



心や体のことを気楽にじっくりと医療者に相談できる「初回無料、長時間開所」のまちなか医療相談所。休憩や授乳ができ、バリアフリートイレも利用できる

評価ポイント 医療機関は、一般的に敷居が高く開院時間も短いため、心や体の心配事があっても訪ねにくい。街中であって、自由に利用できる休憩室やトイレ、授乳室を備えた、カフェのように親しみのある設えの“はなそう”は、多くの人が待ち望んでいたオアシスとも言える。医師の熱い志にデザイナーがピッタリと寄り添って実現させた、ありそうでなかったソーシャルデザインとして高く評価できる。

内装設計、アートコーディネート：
特定非営利活動法人アア・アート
岩田 祐佳梨、松崎 仰生
施工、家具製作：
株式会社家具の八木沢 八木沢 章
アートディレクション：高嶋 結
コピーライト：村田 晋平
グラフィックデザイン：福島 周
ホームページデザイン：
株式会社ターバン 根本 美保子、田中 至
撮影：株式会社 TOMTOM 関根 智洋



茨城のフェス文化の灯を消すな！との熱い想いのもと2022年に初開催された。「音楽と食とアートの祭典」をテーマに、多様な音楽のクロスオーバーを実現させた新しいスタイルの野外フェス

評価ポイント 20年にわたり茨城で開催されてきたロック・イン・ジャパンが千葉に移転したが、ロックに加え、ヒップホップやジャズ、アイドルなど多種多様なジャンルの音楽をクロスオーバーさせ、さらに茨城の食やアートなど多彩なコンテンツを一堂に集めた、新たな茨城の総合的なフェスとして開催が実現した。家族連れなど多世代の心に響くこれまでにないフェスを実現させた企画力と実行力を高く評価したい。

選定について

茨城の優れたデザインとして評価できるものを「選定」としています。モノづくりに加え、グラフィック、社会課題の解決に取り組むもの、建築物など、今年度は33件が「選定」と認められました。



Waltz

製品・工芸部門

国および県の無形文化財「西ノ内和紙」を使用し、環境にやさしい製法でつくられた再生可能なマネキン

評価ポイント 紙の特性を活かした驚異的な軽さと強靭さは、小売現場の負担を軽減し、新しい展示スタイルを生み出すだろう。「西ノ内和紙」の新たな可能性を拓くことで、貴重な文化と技術を守り伝えることができるはずだ。

株式会社トーマネ

〒104-0061
東京都中央区銀座1-11-1東京橋ビル
Tel.03-6367-9860
<https://www.tomane.co.jp/>



選定 杉のコースター

製品・工芸部門

県産の杉柾目材を1mm厚にスライスした、柔軟性と吸水性の高い草木染めのコースター

評価ポイント 布のようなしなやかさは、極限まで薄く削る技術と、それに適う品質の杉を見極める目利きが生み出したもの。草木染めの自然な色合いが美しく調和し、和の雰囲気を持ちつつも洋にも合わせやすいソリッド感が好ましい。

Japonica (ヤボニカ)

〒315-0103 茨城県石岡市中戸 1078
Tel.080-3083-0306
<https://www.ookamiwood.com>

デザイン・製作：清水 将勇



選定 八溝材 総檜造りバレルサウナのブランド「BURROW」

製品・工芸部門

良質な「常陸檜」と断熱材との2重構造で仕上げた、職人手作りの本格的な樽型サウナ

評価ポイント 50年来の“サウナー”である同社代表の知見とこだわりが活かされた高品質・高性能なサウナ。地産の素材を用い、設計から施工、販売まで一貫体制を敷いている。森林資源循環に貢献しようとする姿勢も評価できる。

茨城木工株式会社

〒314-0341
茨城県神栖市矢田部 764-10
Tel.0479-48-0034
<https://burrow.co.jp/>



選定 THE BASE FIBER

製品・工芸部門

多様な腸内細菌に着目し、多種の腸内細菌とそれを育てるオリゴ糖等を配合した腸活健康食品

評価ポイント 健康食品に使用されるほとんどの善玉菌種をブレンドし、自分に合った善玉菌を育て、効果を体験して欲しいとするコンセプトが新しい。飲みやすくなる工夫や、環境に配慮したスタイリッシュなパッケージも好ましい。

BASE OF LIFE/ BASE KAMPO PHARMACY

〒305-0881
茨城県つくば市みどりの2丁目20-11
パレスみどりの104
Tel.029-846-3552
<https://base-of-life.jp/>

ブランディング・デザイン：
株式会社ターバン 岩田 博嗣



選定 通い徳利 「つくばの地酒×笠間陶芸の徳利」セット

製品・工芸部門

江戸時代の通い徳利のしくみを、現代の酒文化として蘇らせた地酒と徳利のセット

評価ポイント 使い捨ての酒瓶を選ぶモノの消費行動に対して、自分専用の通い徳利で酒蔵に通うというコトの体験は、時間軸を有した非日常の雰囲気を演出してくれるだろう。選び抜かれた笠間陶器とつくばの地酒のセットも魅力的。

有限会社 リカーショップストウ

〒305-0861
茨城県つくば市谷田部 2985-2
Tel.029-836-0079
<https://zizake.e-tsukuba.jp/index.html>

トータルデザイン：
Kishimoto Works 岸本 健
企画・デザイン監修：
HAK ソシオデザイン研究室 蓮見 孝



選定 サザソフト

製品・工芸部門

県内企業のコラボによる、生乳とコーヒーパウダーをミックスしたビターなソフトクリーム

評価ポイント 小美玉市産の生乳をたっぷり使い、新開発のマイクロパウダーコーヒーとコラボしたソフトクリームは、甘いおやつの方識を塗り替え大人の嗜好にも答える逸品。力強いグラフィックとともに県外に販路を広げている。

株式会社
小美玉ふるさと食品公社
 〒311-3413
 茨城県小美玉市山野 1628-42
 Tel.0299-56-6991
<https://www.omitamayogurt.jp/>



選定 常陸野ハム BARREL SMOKE

製品・工芸部門

ウイスキーの麦芽粕を食べて育った豚を加工し、オーク樽のチップで燻製したベーコンやハム

評価ポイント 地域の農業に根付いた酒造りをめざす酒蔵が、麦芽粕を食べて育った豚の肉加工品の製造・販売を通して、食・酒・地域をつなぐ環境循環型の取り組みに挑戦している。熱い想いと力強い行動力が、パッケージからも伝わってくる。

木内酒造株式会社
 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣 1257
 Tel.029-212-5111
<https://kodawari.co>

デザイン：木内酒造株式会社 萩谷 真千子



選定 moymo PETIT GIFT (モイモ・プチギフト)

グラフィック・パッケージ部門

「どこでもおいも」をコンセプトにした、食べやすく持ち歩きしやすい個包装の干し芋

評価ポイント 女性をメインターゲットとして、見せたい・あげたい・持ち歩きたいと思えるような“かわいい”デザインが誕生した。干し芋の既存イメージを塗り替えるキャラクターの moymo くん の活躍も期待できる。

株式会社フクダ
 〒312-0062 茨城県ひたちなか市高場 1811-5
 Tel.029-273-6855
<https://shop.moymo.jp>
 企画・ネーミング・コピーライティング・ディレクション：根本 美保子
 アートディレクション：岩田 博嗣
 デザイン・イラストレーション：小林 敦子
 Web デザイン：田中 至
 (上記 4 名いずれも株式会社ターバン)
 撮影：株式会社 TOM-TOM 関根智洋



選定 SENSAI 鮮彩

グラフィック・パッケージ部門

魚の鮮やかな彩りを表すパッケージに包まれた、骨を抜いてスティック状にした干物

評価ポイント モダンで力強いグラフィックが、干物を好む若い層や新しい食のシーンを広げることだろう。保冷剤としても使え、キャンプなどで重宝されそう。アウトドアの魅力を発信する茨城のソウルフードとなるかもしれない。

有限会社榎村水産
 〒311-1237
 茨城県ひたちなか市関戸 8371
 Tel.029-262-2715
<https://www.kashimura-suisan.co.jp/>

ディレクション、デザイン：
 株式会社でざいんさん 岩間 琢哉



THYMUS COFFEE

グラフィック・パッケージ部門

100%天然のコピ・ルアックをアピールする、洗練されたデザインのパッケージ

評価ポイント 国内のコピ・ルアック市場ではインドネシア感をイメージさせるパッケージが多いが、ジャコウネコの毛並みをモチーフにしたシンプルなアイコンや、黒・白・金の3色をコーディネートしたデザインクオリティは高い。

THYMUS COFFEE JAPAN 株式会社

〒319-1535
茨城県北茨城市華川町白場 326-36
Tel.050-3200-0690
<http://thymus.coffee/>

ディレクション、デザイン、ブランディング：
THYMUS COFFEE JAPAN 株式会社
鈴木 耕太



ACTIVE YOHKAN

グラフィック・パッケージ部門

持ち運びやすく、手を汚さず簡単に開封でき、ゴミも小さくできる携帯型の羊羹

評価ポイント 少量でも高カロリーな羊羹の特性をいかし、レジャーやスポーツにも適する携帯食として最適な機能やかたちを追究している。非常食としても有効であり、色やかたち、表示のまとまり感が秀逸で好感が持てる。

株式会社 きくち

〒312-0052
茨城県ひたちなか市東石川 3142-5
Tel.029-274-2121 (代)
<https://kikuchi-okashi.com/>

アートディレクション：
株式会社文化メディアワークス 佐藤 正和
パッケージデザイン：
株式会社文化メディアワークス 佐藤 歩美



いばらきのわらびもち

グラフィック・パッケージ部門

県産の栗・サツマイモ・カボチャを用いた3種の餡をわらび餅で包んだコンパクトな和菓子

評価ポイント 渋皮煮や種、バターなどをミックスした3種の餡と、ぷるぷるのわらび餅とのマッチングは美味。シンプルで可愛いグラフィックのパッケージはサイズ感も手頃なことから、新たな土産品として喜ばれることだろう。

株式会社丸三老舗

〒314-0031
茨城県鹿嶋市宮中 1-9-22
Tel.0299-82-1727
<http://www.marusanrouho.jp/>

アートディレクション、デザイン：
モリユスケ



神鹿羊羹

グラフィック・パッケージ部門

スティック型のパッケージから食べる分だけを押し出し、糸で切って食すキュートな羊羹

評価ポイント 本練、和栗、紅はるかの3種は、地域をイメージさせる美しいグラフィックで彩られ、糸切り羊羹を楽しむ合場の雰囲気を盛り上げてくれそうだ。持ちやすいワンハンドグルメは、多様な世代に受け入れられることだろう。

株式会社丸三老舗

〒314-0031
茨城県鹿嶋市宮中 1-9-22
Tel.0299-82-1727
<http://www.marusanrouho.jp/>

デザイン：
Studio AP 株式会社 武井 みゆき



選定 がませんべい箱小

グラフィック・パッケージ部門

県産の米を挽き、天日で干し、継ぎ足しの醤油で手作りした、半世紀の歴史あるせんべい

評価ポイント 原材料、製法、デザインのいずれにも素朴で豊かな地域性が感じられる。半世紀以上前に発売された菓子だが、かつて神官が描いたというがまの絵や配色のレトロ感が新鮮に感じられる。このままの姿でいて欲しい。

株式会社オーヤマ
〒300-4231
茨城県つくば市北条 5143-4
Tel.029-867-7575
<http://www.k-ooyama.com/>



選定 せせらぎ在宅クリニック

空間・建築部門

地域コミュニティを育てる拠点となる、自然素材にこだわった木造2階建の在宅クリニック

評価ポイント 地域医療と訪問看護サービスの拠点に、人の居場所を作りたいという院長の想いを形にしている。構造部材など全てを国産無垢材とし、断熱材にも自然素材を使用。軒を低く下ろす大屋根が雑木林の風景とマッチし心地よさを感じさせる。

**一級建築士事務所
あとりえ**
〒111-0031
東京都台東区千束 2-4-2 加藤ビル 2階
Tel.03-6802-3227
<https://atolie.com/>

施工：フォレストプレス（渡辺木材株式会社）



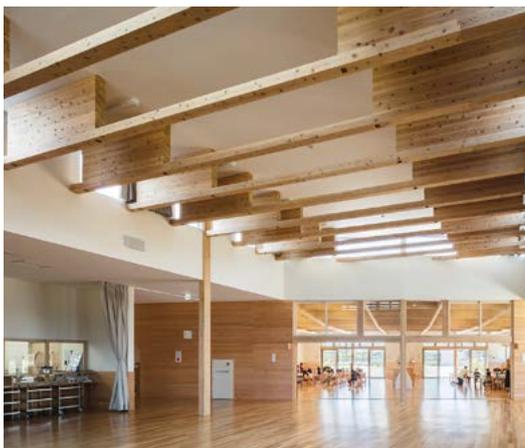
選定 庇護の家(常陸太田の平屋)

空間・建築部門

国産材の使用や脱炭素をめざす高い断熱性能により、里山の原風景をまもる環境共生住宅

評価ポイント 地元工務店の地域愛が強く感じられる。長く引き継がれてきた風景をまもり、土地に建物を馴染ませようと熟考され組み立てられた家は、断熱等級7を実現するエコハウスでもあり、快適に住み続けることができるだろう。

サンハウス
〒310-0911
水戸市見和 2-547-3
Tel.029-257-6566
<https://sunhouse.biz/>



選定 西方いずみ幼稚園

空間・建築部門

構造材に県産材を用い、積み木トラスが大らかに空間を支える木造平屋建ての認定こども園

評価ポイント 大きな材は、園児たちにもわかりやすい「積み木トラス」や「リング梁」などを採用し軽やかに見せている。県産材をベースに、適材適所に集成材やBP材などを用いるなど、構造計画と意匠計画がきめ細かく調整されている。

Live Haus 建築設計所
〒305-0042
茨城県つくば市下広岡 293-19
Tel.029-875-3244
<https://live-haus.com/>

株式会社ヤモリ
〒305-0023
茨城県つくば市上ノ室 967-1
Tel.029-845-7343
<https://yamori-tkb.co.jp/>



水戸市民会館 やぐら広場

空間・建築部門

「毎日が祭り」と感じさせる、木製の柱・梁を組み上げた吹き抜けのやぐら型屋内広場

評価ポイント 中心市街地の美術館と百貨店をつなぐ動線上に配置された、新たな賑わいを生み出すやぐら構造のストリート型空間。マルシェなどの開催が可能な設備を持ち、幅広い世代のサードプレイスとしても有効に活用されている。

泉町1丁目北地区市街地再開発組合

〒310-0026 水戸市泉町2丁目3番2号中央ビル6階
Tel.029-222-5855

設計：伊東豊雄建築設計事務所・横須賀満夫建築設計事務所共同企業体

伊東豊雄建築設計事務所（担当）伊東 豊雄、東 達男、水沼 晴昭、樽谷 欵、福田 陽之輔、高垣麻衣花
横須賀満夫建築設計事務所（担当）横須賀 満夫、下山田 清之、村山 恵美

施工：竹中・株木・鈴木良・葵・関根 特定建設工事共同企業体（建築担当）川邊 辰彦、福島 一夫、竹尾 亨、川戸 耕介、立仙 康平、吉田 宏一、朝倉 雄輔（設備担当）榎谷 嘉、守分 史彦、軽部 達也



JINS水戸元吉田店

空間・建築部門

地元の特性を活かした、全国展開のアイウェアブランド「JINS」のロードサイド店舗

評価ポイント 物販店を感じさせないきめ細かい演出がなされている。片流れと切り妻屋根を大胆に組み合わせ、大きく跳ね出した屋根に設けられた開口からの光が袖壁や樹木が生み出す影に差し込み、季節の移ろいも感じさせる。

平居直設計スタジオ

〒604-8152
京都府京都市中京区手洗水町 647 トキワビル 4F-C
<https://hirai-a.com/>

株式会社 ジンズ

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 3-1 安田シーケンスタワー
<https://www.jins.com/>

設計：平居直設計スタジオ 平居 直
施工：株式会社鈴木木工務店



「人と木」をつなぐ建築 HITOTOKI

空間・建築部門

施主が先代より授かった山の本々を選び、一本一本の個性を生かしてつくったカフェ店舗

評価ポイント 「山の本をつかった建築づくり」に、林業・製材・材木業、建築業のエキスパートが連携して実現させた画期的な取り組みとして評価できる。根っこのかたちを残した柱など、素材感を存分に味わえる希有な建築である。

株式会社暮らし図

〒319-1225
茨城県日立市石名坂町 1-33-10
Tel.0294-59-3004
<https://kurashis.jp/>



いばらき地酒バー水戸

ソーシャルデザイン部門

茨城の地酒の魅力を県内外に広く伝えるために水戸駅に設置された、35の酒蔵の酒が飲めて買える施設

評価ポイント 人流が行き交う駅構内に、地酒や県産の肴を味わえる場を設けた試みは高く評価できる。茨城は5水系ごとに数多くの酒蔵が点在する酒処であることを社会発信するとともに、県民が地域力を再認識する場ともなっている。

有限会社 リカーショップズドゥ

〒305-0861
茨城県つくば市谷田部 2985-2
Tel.029-836-0079
<https://zizake.e-tsukuba.jp/index.html>

株式会社エィムクリエイツ

〒164-0001
東京都中野区中野 3-34-28
Tel.03-5340-0135
<https://www.aim-create.co.jp/>



規格外干し芋をよりおいしく食べやすく アップサイクル 3者連携プロジェクト

ソーシャルデザイン部門

規格外干し芋の活用をめざす、パティシエ、農家、地域おこし協力隊の3者連携プロジェクト

評価ポイント アップサイクル(創造的再利用)の理念を高く評価したい。さらに、おいしさや食べやすさという感性価値を多角的視点からデザインしようとしている点が好ましく、活動のさらなる発展性や持続性が期待できる。

シナリス

〒310-0853 茨城県水戸市平須町 1828-990
Tel.029-291-8181
<https://www.cinaris2021.com/>

まるも農園

〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛 918-1
Tel.070-2619-5284
https://www.instagram.com/marumo_farm/

かつぎや入江商店

〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛 922-8
katsugiya.irie@gmail.com



山のcafe sasahara

ソーシャルデザイン部門

地域に根付き、多様な交流の輪を広げるカフェとして運営されている就労継続支援B型事業所

評価ポイント 地域になじみ見守られながら、一人ひとりがじっくりと自分のできることを伸ばしていける、里山の古民家を生かした温もりのある施設。魅力的なカフェは、過疎化が進む地域住民の交流拠点としても機能している。

一般社団法人 山里舎

〒311-0313
茨城県常陸太田市西河内中町630-1
Tel.0294-78-0770
https://www.instagram.com/yamanocafe_sasahara/



関鉄EVバス

ソーシャルデザイン部門

「誰にでも受け入れられ、人と社会にやさしいバス」をテーマにしたEV路線バスのデザイン

評価ポイント 過疎化により経営が厳しい路線バスだが、茨城県初のEVバスを導入しSDGsに取り組んでいる。スッキリしたデザインのバスは、街中にあふれる騒色の中でも高い視認性を保ち、地域の田園風景にも美しくマッチする。

関東鉄道株式会社

〒300-8555
茨城県土浦市真鍋1丁目10番8号
Tel.029-822-3724
<https://www.kantetsu.co.jp/>

デザイン: 岸本 健
デザイン監修: 蓮見 孝



日立総合病院「なごみの広場」 ～ヒストリースペース

ソーシャルデザイン部門

院内の複雑な動線を改善し、多様な居場所づくりをめざす病院の歴史を活かした休憩コーナー

評価ポイント 分かりにくい動線や待ち時間の長さなどの病院の課題を、階段下の遊休スペースに休憩コーナーを設けることで緩和しようとするストリートデザイン。病院の理念や歴史の展示も巧みにまとめられ、病院の顔となっている。

株式会社日立製作所 日立総合病院 茨城大学一ノ瀬研究室
〒317-0077 茨城県日立市城南町2丁目1-1 茨城県日立市中成沢町4丁目12番1号
Tel.0294-23-1111 Tel.0294-38-5175
<https://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/>

株式会社イノウエインダストリーズ **株式会社大崎材木店**
〒174-0041 茨城県東茨城郡城里町上入野2142-1 茨城県東茨城郡城里町上入野2142-1
東京都板橋区舟渡3丁目5-8 MIC1-304 Tel.029-288-3535
<https://inoueindustries.com/> osakiinc@viola.ocn.ne.jp

デザイン: 茨城大学一ノ瀬彩、山田翔馬、坂本萌乃、高村 美涼



選定 鮫松榮

コンテンツ・情報デザイン部門

国内外超富裕層を対象に、茨城の食と文化、地域性に
触れ合いながら美食を楽しめる鮫店

評価ポイント 海外で注目されている
ガストロノミーやテロワールという概念
を自ら旅して学び、鮫という日本固有の
食文化に取り入れようとする奥深い探求
テーマが、常磐前の鮫というかたちで可
視化されていることは素晴らしい。

鮫松榮

〒309-1705
茨城県空間市東平 1-1-21
Tel.0296-77-0317
<https://www.tablecheck.com/shops/matsuei/reserve>

株式会社イオンアーキテツ

〒154-0015
東京都世田谷区桜新町 2-20-13
FeR205
Tel.03-6413-0101
<https://ion-arch.com/>

佐伯建設

〒311-1502
茨城県鉾田市大戸 631
Tel.0291-36-2038
<https://saeki-kensetsu.jp/>

株式会社大平造園土木

〒309-1703
茨城県空間市鯉淵 6241-42
Tel.0296-77-3021
<http://z-ooaira.com/index.htm>



選定 「しくみ」×「魅力」を デザインするCMS「みなさいと」

コンテンツ・情報デザイン部門

職員だれもが魅力を発信でき、教育普及活動に取り組める
美術館のホームページ構築のしくみ

評価ポイント 情報管理を分業化せず、
職員がだれでも情報発信できるしくみ。
職員が美術館や作品の魅力を伝える学芸
員の役割も担いながら、次世代の子ども
たちにアートの魅力を伝えようとする、
職員が主役になれる素敵なCMSである。

株式会社ネクシモ

〒319-1221 茨城県日立市大みか町 4-27-32
Tel.0294-27-1881 <https://www.nexsimo.co.jp/>

ディレクション：株式会社ネクシモ 大谷 邦雄
デザイン：株式会社ネクシモ 藤枝 真弓
デザイン：株式会社ネクシモ 會田 翔子
アシスタント：株式会社ネクシモ 山形 紀和
開発：株式会社ネクシモ 片柳 達也
開発：株式会社ネクシモ 渡辺 葵



選定 オートリゾート

コンテンツ・情報デザイン部門

地域の食や景色、そして地元の人びととの交流を楽しむ、
車中泊もできるキャンプサイト

評価ポイント アウトドア未経験者や手ぶらの
一人旅など、だれでも安心して泊まれる車中泊
に焦点を当てた希有の施設。県産食材の手配や
道具のレンタルなど、自然に包まれた非日常な
ひとときを愉しんでもらおうとする想いが感じ
られる。

株式会社

Wonder GATE

〒318-0101
茨城県高萩市横川 1534-3
Tel.070-3132-5858
<https://autoresort.fun/>



選定 偕楽園カフェ「樂」

コンテンツ・情報デザイン部門

偕楽園・好文亭内の「西塗縁」につくられた、
千波湖と桜山を望む齊昭公の想いに添うカフェ

評価ポイント 歴史資産の保存に留まらず、
現代に生き続ける場所として多くの人に来ても
らいたいと願うオーナーの想いが、細部までこ
だわった器や茶・菓子、空間の設えに映し出さ
れている。五感に響く居心地の良い調和感が
清々しい。

株式会社 Ly-Bright

〒310-0031
茨城県水戸市大工町 3-7-1
Tel.029-212-4850

偕楽園 好文亭内 カフェ「樂」

水戸市常盤町 1-3-3 偕楽園 好文亭内
Tel.070-9040-3191
<https://r.goope.jp/caferaku/>





湖と里山とわたし。

コンテンツ・情報デザイン部門

市の自然や人の営みなどを冊子やポスター、動画で発信するブランディングのシリーズ

評価ポイント ありのままの姿を美しいものにとらえ、市民には日常を慈しむ心を、市外の人には原風景への憧れを醸成して欲しいと願いながら続けてきた心豊かな情報発信活動。「動く絵はがき」をテーマにした動画も魅力的だ。

かずみがうら市観光課

〒300-0192
かずみがうら市大和田 562 番地
かずみがうら市役所 霞ヶ浦庁舎
Tel.029-897-1111
<https://www.city.kasumigaura.lg.jp/>

プロジェクトマネージャー: 株式会社イセブ 渡辺剛司
アートディレクション: 株式会社ターバン 岩田博嗣
ディレクション、コピーライティング:
株式会社ターバン 根本美保子
撮影: 関根智洋 (株式会社 TOM-TOM)、坂波周平、飯村ゆみ



広報おみたま9月号(第198号) 2022年9月発行

コンテンツ・情報デザイン部門

エシカル消費の実践をテーマに、市民の顔が見える誌面にこだわった小美玉市の広報紙9月号

評価ポイント シティプロモーションに力を入れる小美玉市ならではの魅力的な広報紙。毎月テーマを絞り、重要な社会課題についてわかりやすく解説している。市民参画のもと、活動する人の姿や表情を効果的に見せ発信している。

小美玉市役所 魅力発信課 シティプロモーション係

〒319-0192
茨城県小美玉市堅倉 835
Tel.0299-48-1111 (内線 1252)
<https://www.city.omitama.lg.jp>

企画・デザインサポート:
株式会社カゼグミ 鈴木高祥、田中昭信



3代続く豆腐屋。 夫婦で取り組むリブランディング

コンテンツ・情報デザイン部門

老舗豆腐店が始めた「豆腐工房×カフェ×遊び場」の新ブランドと豆腐の魅力を伝えるカフェ

評価ポイント 健康にこだわった純度の高い豆腐づくりや、環境に配慮しながら誰もが安心して食べられるメニューを提供するカフェ、食育イベントの開催など、リブランディングに取り組む店は、未来の食を描く拠点である。

有限会社高橋食品/ とうふやかはし(店舗名)

〒300-3555
茨城県結城郡八千代町声ヶ谷 654-1
Tel.0296-48-1536
<https://tofuya-takahashi.com/>



科学と製菓による革新的 STEAM教育教室S-Lab.

コンテンツ・情報デザイン部門

科学実験とお菓子づくりを通してSTEAM教育プログラムを提供する習い事教室

評価ポイント AI時代を生きる子どもたちのために発想力と創造力を育もうと開発されたSTEAM教育・探究型学習のプログラム。実験やお菓子づくりを通して自己肯定感を育もうとする想いが、人の可能性を開くことだろう。

株式会社 S-Lab.

〒302-0119
茨城県守谷市御所ヶ丘1丁目2-1
アヴァン新守谷 102
Tel.050-3160-0250
<https://www.s-lab-smile.com>

奨励について

「選定」にはいたらなかったものの、デザイン性が高く、今後の発展性が期待できるものとして「奨励」を設けています。今年度は2件が「奨励」に選ばれました。



奨励 ワニナルプロジェクト

ソーシャルデザイン部門

農業と地域の潜在力をかけあわせ、地域が輝く輪をつくろうと活動するプロジェクトチーム

評価ポイント 農業が職業の選択肢の一つになるように、情報を収集し魅力的なフリーペーパーやフェス、WebサイトやSNSなどをデザインし発信している。農業を軸にしたソーシャルデザインの実践事例であり、大きな成果を期待したい。

合同会社 ワニナルプロジェクト

〒300-2645
茨城県つくば市上郷 2223-1
Tel.029-811-6275
<https://waninaru-project.com/>

プロデューサー：青木 真矢
アカウントディレクター：近藤 直也
アートディレクター：竹内 利枝
プランナー・ライター：小林 祥子
(いずれも合同会社ワニナルプロジェクト)



奨励 日本唯一 ウミウ捕獲伝統技術

コンテンツ・情報デザイン部門

歴史ある鵜飼漁を支える捕獲技術保持者の思いや緊迫の捕獲シーン等を記録した4Kの映像

評価ポイント 1300年の伝統ある鵜飼漁を支えるウミウの捕獲プロセスを描く映像美が印象的である。稀少な伝統技術の継承のために、さらに多様な情報伝達手法を駆使して社会発信し、体験型・学習型観光拠点の整備につなげて欲しい。

株式会社 JWAY

〒317-0073 日立市幸町 1-19-1
Tel.0294-22-3080
<https://jway.jp/>

一般社団法人

日立市観光物産協会

〒317-0073 日立市幸町 1-21-1 4 階
Tel.0294-24-7978
<http://www.kankou-hitachi.jp/>

シリーズ選定について

以前に選定されたもので、コンセプトはそのままに改良されている対象を「シリーズ選定」としています。今年度は、機能性を高めたもの、市場ニーズを見直しリデザインしたもの、事業の継続展開など8件が選ばれました。



2022年 選定 那珂湊張り子



那珂湊張り子_竜

製品・工芸部門

刷色製品に加え、楮（こうぞ）の黒皮入りの「西ノ内和紙」も使用した辰の張り子

評価ポイント 江戸時代から続く伝統工芸品を復刻。一層の普及をめざし、干支製品や、親子のセットも開発した。海外の顧客も視野に入れ、刷色製品の他に、西ノ内和紙の手すきの味わいをいかしたのもラインアップするなど意欲的である。

画房ノア

〒312-0026
ひたちなか市勝田本町 2-35-702
Tel.029-272-5411 / 080-5520-7734
<https://sites.google.com/view/gabounoa-hp>



2014年 選定 Penna | 2021年 シリーズ選定 PA-11



penna short armchair

製品・工芸部門

積層成形した部材を背板に活用する

pennaシリーズの第3弾「ショートアームバージョン」

評価ポイント 既存品は座り心地はよいが、アームが長くテーブルでの立ち座り時には椅子を動かさなければならなかったため、ショートアームバージョンを開発した。強度を保つための後脚が個性的なアクセントになっている。

家具工房 おおば木匠

〒315-0117
茨城県石岡市佐久 683
Tel.0299-44-1558
<https://www.ooba-mk.com>



2009年 知事選定 自動棒材供給機バートップ OS20/32 | 2018年 シリーズ選定 高圧クーラント装置+自動棒材供給機バートップシリーズ
2020年 シリーズ選定 超極細棒材自動供給機バートップ OS4RE



超極細棒材 自動供給機 バートップ OS4REYII

製品・工芸部門

φ0.5mmの超極細棒材を長時間無人で安定してCNC自動旋盤に送り込む自動棒材供給機

評価ポイント スクリュー式だった材料棚をスイングピックアップ式にすることで、材料を束のまま投入できるようになり、材料収容量が7.5倍にアップし生産性が向上した。不断の研究・工夫により技術力がさらに進化している。

育良精機株式会社 省力機器事業部

〒300-4297
茨城県つくば市寺具 1395-1
Tel.029-869-1212
<http://www.ikura.com/bartop-index.html>



2015年 選定 車椅子用着用 (早咲羅)



ユニバーサルデザイン 着物エプロン【おさらい着】

製品・工芸部門

誰もが気軽に着物を着た気分になれる

ユニバーサルデザインの新型エプロン

評価ポイント 2015年度選定の「車椅子用着用」を発展させ、誰もが気軽に着物を着た気分になれるエプロンを開発した。本体と帯は自由に組合せでき、汚れを受ける機能にも配慮。日常のケの時空間に、ハレの華が咲きそうだ。

株式会社明日樓

〒305-0005 つくば市天久保 3-17-13
Tel.029-852-9316 <https://asusakura.jp/>

ディレクション、デザイン：浅倉 早苗
デザイン：森 聡美、浅倉 知穂
(上記3名いずれも株式会社 明日樓)
グラフィックデザイン：池田 ゆき
製造：株式会社 明日樓



防災授乳Tシャツ(吸水速乾Tシャツ)

製品・工芸部門

“着られる授乳室”として災害備蓄品になりえる、肌を見せずに授乳できる防災授乳Tシャツ

評価ポイント 災害時のプライバシー保護という社会課題をクリアしたシンプルで機能的な授乳ウェア。丈夫で伸縮性・速乾性の高い素材を用い、体型を選ばず着用できるなど、子連れ出勤で培ったノウハウが有効に活かしている。

有限会社モーハウス

〒305-0836
茨城県つくば市山中 480-36
Tel.029-851-7373
<https://mo-house.net/>

2007年 選定 モーハウスの授乳服 | 2008年 知事選定 Mo-House、フォーマルドレス、モーハウスブラ



引き出す

製品・工芸部門

置く・運ぶ・見せるに加え、“引き出す”所作に注目してデザインされた「つづら」

評価ポイント ラックへの収納を想定したつづらは、引き出す際に、把手や底面に強度が要求される。和紙と竹の構成で新たな用途に適応できる美しいつづらが、たびたび選定を受けている「つづら」シリーズに加わった。

高橋つづら店

〒305-0817
茨城県つくば市研究学園 7-44-2
Tel.029-845-4783
<http://takahashi-tsuzura.com/>

2018年 奨励 高橋つづら店 | 2019年 選定 つづら(西ノ内和紙仕上げ) | 2020年 シリーズ選定 手持ちつづら(ポップ)
2021年 シリーズ選定 つづら「立方体」 | 2022年 シリーズ選定 素敵なベンケース



N.CYCLE FACTORY® CORDURA® サイクルウェアシリーズ

製品・工芸部門

世界最強のナイロンといわれるCORDURA® 糸を使ったサイクルウェアの新ラインナップ

評価ポイント アスリートも認めるスポーツ用途性能と普段着として違和感のないかたちが調和したサイクルウェア。昨年独自開発したCORDURA® 糸をさらに進化させ、CORDURA®100%化を達成。強靭性を大幅に高めた。

NAKASHIMA CYCLE FACTORY

〒300-0844 茨城県土浦市乙戸 854-4
https://www.instagram.com/nakashima_cycle_factory/
<https://ncfwear.base.shop/>

プロデューサー: TBプランニング株式会社 鈴木 宏志
デザイナー: TBプランニング株式会社 佐伯 知依美
素材開発、生産: 東光ミー株式会社 堀 正史

2022年 選定 N.CYCLE FACTORY® CORDURA® サイクルウェアシリーズ



深作農園 いちご箱シリーズ

グラフィック・パッケージ部門

多様なサイズへの展開を図った、シズル感とプレミアム感を表わす全面赤色のパッケージ

評価ポイント 苺にかける農園の想いを込めた全面赤色のパッケージには、こだわりの栽培プロセスや、苺の生命力を表徴する緑の葉と白い花、そしてミツバチも描かれている。特許取得済みの空中パックも巧みなデザインである。

農業法人

深作農園有限会社

〒311-2102
茨城県鉾田市台濁沢 157
Tel.0291-39-8560
<https://fukasaku.com/>

デザイン:
株式会社エターラS & CO.DESIGN STUDIO
瀬古 典子
製造: ザ・バック株式会社 佐藤 宏樹



2022年 選定 深作農園 いちご箱



審査概要

公募期間：令和 5 年 6 月 19 日→7 月 31 日 142 件のべ 161 社（個人を含む）の応募

一次審査（書類選考）：令和 5 年 8 月 9 日

二次審査（現品選考）：令和 5 年 10 月 11 日

※各審査委員は、自身が関わった応募案件がある場合、公平を期するため、当該審査には関与しません。

審査基準

下記の審査基準により、とくに優れている点を評価します。

- デザインコンセプトが明確であること
- 美しくまとまりがあるデザインであること
- 社会性や公共性を有していること
- 機能性と安全性に配慮されていること
- 茨城らしい背景やストーリーを有していること
- 地域の振興に資するものであること
- 発展性や持続性が期待できること
- 独創性や新規性に富んでいること

選定結果

大賞 1 件、知事選定 5 件、選定 33 件、奨励 2 件、シリーズ選定 8 件

いばらきデザインフェア 2023-2024

IBARAKI DESIGN FAIR 2023-2024

茨城県の優れたデザインを選定する“いばらきデザインセレクション2023”で
選定された商品等について、販売イベント等を開催します。

いばらきデザインフェア in 銀座

2024. 1/18 ㊟ → 21 ㊟

会場：IBARAKI sense – イバラキセンス –
東京都中央区銀座 1-2-1 紺屋ビル1階

いばらきデザインフェア in 茨城

2024. 2/17 ㊟ → 18 ㊟

会場：イオンモール水戸内原
茨城県水戸市内原 2-1

諸事情により変更の可能性がございます。
イベントの詳細は、WEB をご覧ください。

id-selection.jp



いばらきデザインセレクション 販売店の紹介



IBARAKI sense – イバラキセンス –

「茨城の厳選された逸品を世界へ」をコンセプトに、
食品、地酒、工芸品を販売。
食品を中心に、過去選定品(一部)を販売しています。

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-2-1 紺屋ビル1階
Tel.03-5524-0818 Fax.03-5524-0819
<https://ibaraki-sense.com>



笠間工芸の丘

食品やクラフトを中心に、過去選定品(一部)を
販売しています。

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2388-1
Tel.0296-70-1313 Fax.0296-70-1311
<http://www.kasama-crafthills.co.jp/>



回廊ギャラリー門

クラフトを中心に、過去選定品(一部)を販売しています。

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2230-1 芸術の森公園前
Tel.0296-71-1507 Fax.0296-71-1508
<http://www.gallery-mon.co.jp/>



※詳しい営業日・時間、取扱商品については店舗にお問合せください。

印刷のため実際の色とは異なる場合があります。

発行：茨城県

制作：茨城県デザインセンター

〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町 38 ひたちなかテクノセンタービル 2階

Tel.029-264-2205 Fax.029-264-2206 e-mail. info@idesign-c.jp <https://www.idesign-c.jp>

監修：原 忠信・蓮見 孝

編集：田中 京子・大平 久美子

DTP：株式会社 光和印刷

令和5年12月21日発行